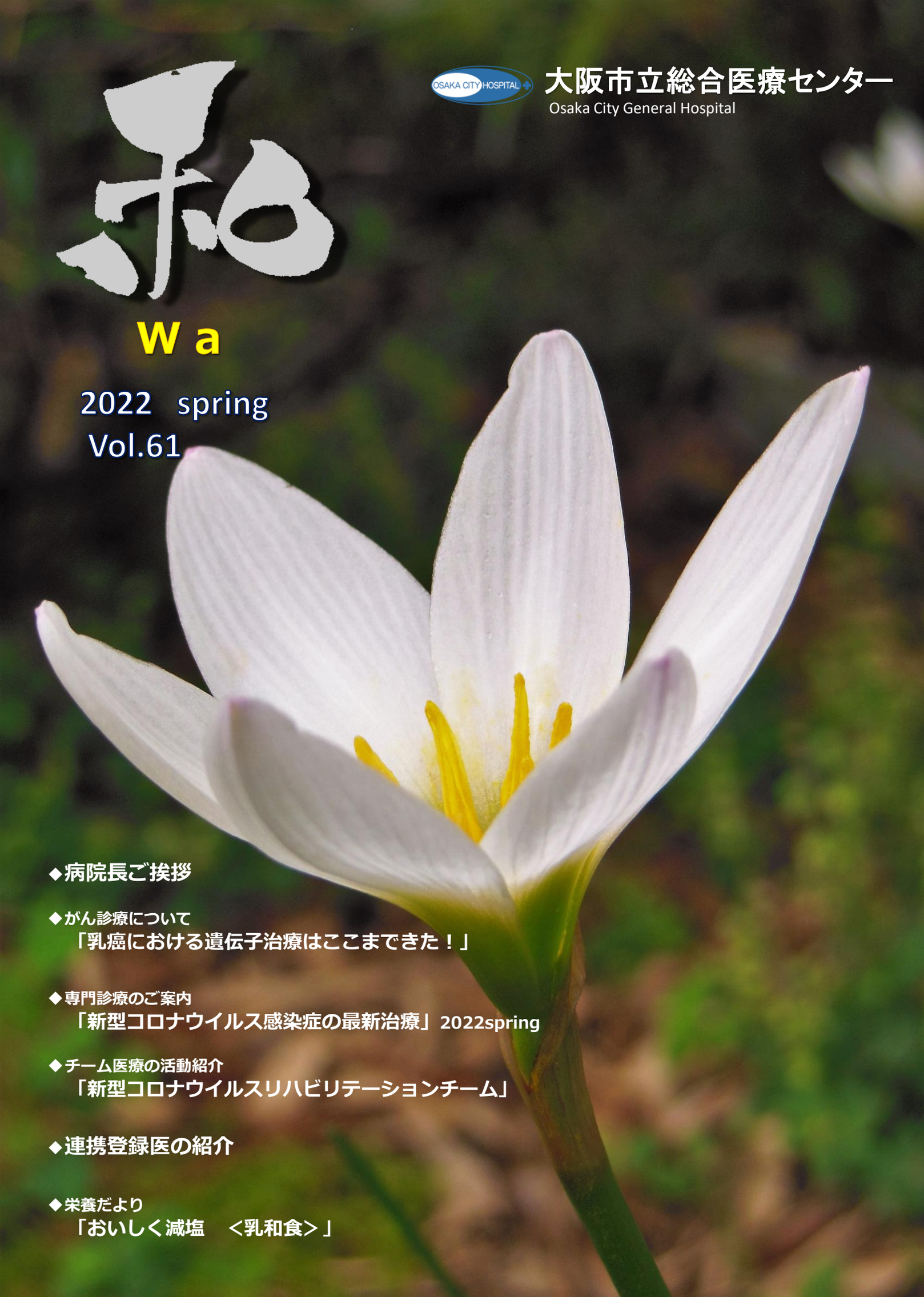
大阪市立総合医療センター
Osaka City General Hospital

和

Wa

2022 spring
Vol.61



◆病院長ご挨拶

◆がん診療について
「乳癌における遺伝子治療はここまできた！」

◆専門診療のご案内
「新型コロナウイルス感染症の最新治療」2022spring

◆チーム医療の活動紹介
「新型コロナウイルスリハビリテーションチーム」

◆連携登録医の紹介

◆栄養だより
「おいしく減塩　＜乳和食＞」

～病院長就任にあたってのご挨拶～

大阪市立総合医療センター
病院長　　西口　幸雄

皆様方におかれましては、このコロナ禍におきまして不安と不自由さが入り混じった、すっきりしない生活を続けられておられることと存じます。このような不安定な中、当総合医療センターをご利用いただき、職員一同感謝申し上げます。

令和４年度に入り、私は瀧藤伸英病院長の後任として病院長となりました「西口幸雄」と申します。病院長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私はもともと外科医で、大腸がんなど大腸の疾患に対する手術を多く手掛けていました。大阪市立大学第一外科、その後、当院で多数の大腸がん手術を行ってきました。４年前に十三市民病院の副院長に就任、３年前に十三市民病院の病院長となり、病院長就任後１年が終わろうとしているときに日本で最初の「コロナ専門病院化」の指示が来ました。多くのコロナ患者が発生していましたので、しっかり対応できる病院が多数の患者を引き受けたほうが効率はいいだろうと思っていた矢先でした。その後は十三市民病院全職員でコロナの対応を行っていましたが、その働きにつきましては日本全国のみならず、世界中から激励のお手紙やご支援をいただきました。公的な病院のなすべきことに対する自覚が職員にあったのだと思っています。

今年の4月1日から再び大阪市立総合医療センターの病院長として戻ってまいりました。ご存じの通り、総合医療センターは周産期から高齢者まで、痔核などの通常の疾患から食道がんなどの高度の難病まで、ロボット手術といった最新の機器も駆使して、現時点での最新、最高の治療を行っています。どの疾患に対する治療も超一流であると自負しています。

患者さんへの対応につきましては、「患者さんを自分の家族だと思うように」を言い聞かせ、「自分の親だったら」「自分の子供だったら」どのように説明するか、どのように診察するか、検査するか、手術するかを考えるように意識を持ってください、と指導しています。ぜひ職員のふるまいをご覧いただきたく思います。

また、みなさんからのご意見もどしどしお寄せください。そのご意見がいい医師、いい看護師、いい医療人を育てます。よろしくお願いいたします。

コロナに関しましては、第6波のピークが過ぎ、入院患者は減少しましたが、下げ止まっています。もう少しすれば第7波が始まりそうです。

当院ではコロナにつきましても、軽症から重症に至るまで、どんな病態でも対処できるように整えています。もちろん、感染しないように対策を立てることが一番であるのは言うまでもありませんが、万が一、コロナに感染しても、大阪市立総合医療センターがありますので、ご安心いただければと思います。

最後になりますが、大阪市立総合医療センターは公立病院としての使命を自覚しています。またどんな病気にも最高の医療を提供しなければいけない、という使命も自覚しています。この2つの使命を柔軟に組み合わせながら、みなさんに安心・安全な医療を届けます。どうか、職員の頑張りを見守ってください。

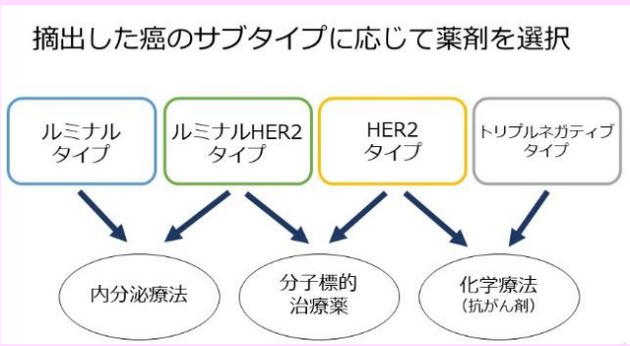
これから、よろしくお願いいたします。

◆がん診療について◆

乳癌における遺伝子治療はここまできた！

乳腺外科医長　渡部　智加

乳癌と診断される人は年々増加傾向であり、現在9人に1人が乳癌になる時代と言われています。
一方で、乳癌に対する治療は年々、新しい治療が保険適応となってきており、乳癌患者さんにとってベストな治療の幅が徐々に広がりつつあります。
乳癌の薬物療法には『ホルモン療法』、『化学療法（抗癌剤）』、『分子標的治療薬（抗HER2薬）』の3つがあり、それぞれの治療は、乳癌のサブタイプ（顕微鏡でわかる）に応じて決定しています。



乳癌の治療について、さらに詳しく知りたい方はこちらへ→

これに加え、最近では遺伝子レベルで個々の乳癌細胞を調べ、治療を決定する方法も徐々に取り入れられています。

＜乳癌におけるがん遺伝子検査＞

①　Oncotype　DX

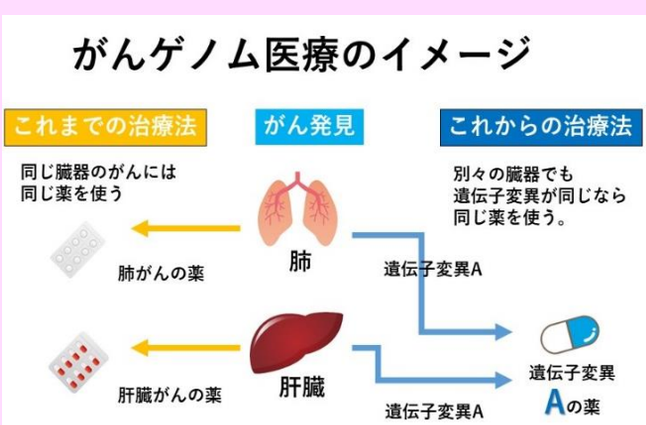
ルミナルタイプの患者さんに対して、術後の再発予防として、抗癌剤治療が必要かどうかを遺伝子レベルで判断できる方法です。本年度中に保険適応となる予定であり、個々の再発リスク等もわかる検査です。

②　遺伝性乳癌卵巣癌症候群（BRCA1/BRCA2遺伝子異常）

乳癌の患者さんの中には、遺伝子異常により乳癌やその他の癌ができやすい方がおられます。家族歴や乳癌のサブタイプ等からリスクがある方には、カウンセリングを受けた後に保険適応で遺伝性乳癌卵巣癌症候群の遺伝子変異がないかどうかを採血検査で調べることができます。

③　がん遺伝子パネル検査

再発乳癌などで標準治療実施後にがんの進行が確認され、次の治療を探索している方に対して、癌に関連する100個以上の遺伝子を網羅的に調べて、異常がないかどうか、効果が期待できる治療がないかどうかを調べます。



がんゲノム医療を併用していくことで、治療の選択肢が新たに見つかる可能性があります。当院はこのようながんゲノム医療を行うことのできる医療機関として認定されており、一人一人の患者さんにとって、より良い治療を目指しています。

◆治療最前線◆　※2022年4月上旬時点での情報に基づいています。

新型コロナウイルス感染症の最新治療 ～2022spring

感染症内科部長　白野　倫徳

新型コロナウイルス感染症が世界に拡大してから、2年以上がたちました。この間、治療薬が次々と開発され、治療の選択肢は充実してきました。

☞　治療の原則

感染初期には、ウイルスの増殖を抑える抗ウイルス薬や、ウイルスを攻撃する中和抗体薬がおもに用いられます。一方、感染から数日が経過すると、宿主であるヒトの免疫による炎症反応が強くなるため、炎症を抑える薬剤が治療の中心となります。

その他、合併症としての血栓ができるのを防ぐ薬剤なども使用されることがあります。

なお、重症化リスクのない、無症状の患者さんには原則として薬物治療は推奨されません。

主な重症化リスクには、高齢、肥満、心血管疾患、慢性肺疾患、糖尿病、慢性腎障害、慢性肝疾患、免疫抑制状態（抗がん剤や免疫抑制薬使用中、骨髄・臓器移植後、コントロール不良のHIV感染症など）が挙げられます。

☞　抗ウイルス薬

・レムデシビル（商品名ベクルリー）

幅広く使用されるのは点滴薬であるレムデシビルです。原則として5日間点滴します。
レムデシビルは中等症以上の患者さんに早くから使用されていましたが、最近、重症化リスクのある軽症患者さんにも適応拡大されました。

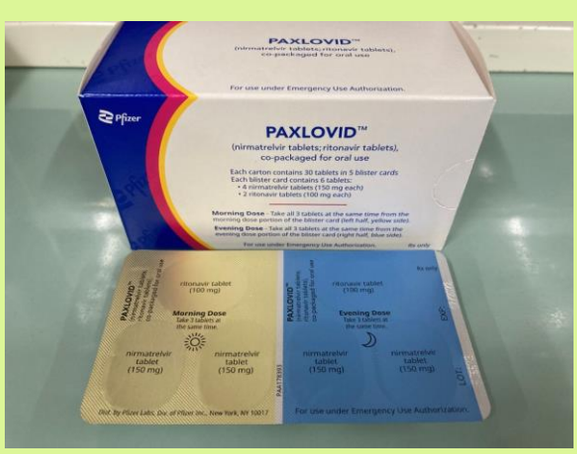
・モルヌピラビル（商品名ラゲブリオ）

わが国で最初に承認された飲み薬です。発症後早期に飲み始めることで重症化を抑制することができるとされています。18歳以上が適応で、1回4カプセルを1日2回、5日間続けます。

・ニルマトレルビル／リトナビル（商品名パキロビッドパック）

2番目に承認された飲み薬で、やはり発症後早期に飲み始めることで重症化を抑制することができるとされています。2錠とリトナビル1錠の計3錠を１日2回、5日間続けます。他の薬剤との相互作用に注意が必要です。

▲モルヌピラビル（商品名ラゲブリオ）



▲ニルマトレルビル／リトナビル（商品名パキロビッドパック）

☞ 中和抗体薬

・カシリビマブ／イムデビマブ（商品名ロナプリーブ、いわゆる抗体カクテル療法）

わが国では最初に承認された中和抗体薬で、1回だけの点滴薬です。重症化リスクのある患者さんには重症化を抑制する効果がありますが、オミクロン変異体には効果が低いとされています。

・ソトロビマブ（商品名ゼビュディ）

同じく1回だけの点滴薬で、重症化リスクのある患者さんには重症化を抑制する効果があります。オミクロン変異体にも有効とされ、第6波では広く用いられました。

▲ソトロビマブ（商品名ゼビュディ）

☞ 免疫抑制薬

新型コロナウイルス感染症の患者さんでは、免疫系の暴走が起こっていると考えられています。その暴走を抑えるために、炎症を抑制するデキサメタゾンなどのステロイド薬や、本来は関節リウマチなどに使用されていたバリシチニブ（商品名オルミエント）、トシリズマブ（商品名アクテムラ）などが用いられます。

☞ ワクチン

新型コロナウイルス感染症のワクチンは、感染予防、発症予防、重症化予防など、あらゆる予防効果に優れていることが示されています。とはいえ2回接種後、数か月で効果が落ちてくるとされており、3回目（ブースター）接種が推奨されます。

※治療薬の適応については、病状や基礎疾患などさまざまな要素がありますので、どなたにでも使用できるとは限りません。治療方針については主治医の先生と十分にご相談ください。

治療薬やワクチンが充実してきたとはいえ、感染予防のためにはマスク着用、手指の消毒、換気などが基本であることには変わりありません。
感染予防行動が根づいたことで、インフルエンザなどほかの呼吸器系ウイルス感染症が激減したことが報告されています。
せっかく身についた感染予防行動を、これからも続けていきましょう。

◆チーム医療の活動紹介◆

新型コロナウイルスとリハビリテーションチーム

理学療法士　森本　雄司

リハビリテーションチームの活動

人は病気やけがで入院すると、日常生活に比べ、活動量が減り、活動範囲が狭くなってしまいます。病気やけがそのもので、身体を動かしにくくなってしまうこともあります。ベッド上で過ごす時間が長くなると、元々人に備わっている動くために必要な心身機能が低下してしまいます。それらの心身機能が低下してしまっては、病気やけがが治っても、スムーズに元の生活に戻ることが難しくなってしまいます。

当院では入院中の患者さんを中心に、その人らしい生活を獲得、取り戻すことを目標に、入院後早くから積極的にリハビリテーション介入を実施しています。

新型コロナウイルスに罹られた患者さんも例外ではありません。症状には倦怠感や息切れ等、身体を動かすことがしんどいと感じるものがあります。

ベッド上で横になってばかりでいると、痰が出しにくくなってしまい、肺の機能がさらに悪くなってしまいます。食べ物や水を飲み込めなくなってしまうこともあります。心身機能の回復、不動による二次的な悪影響を予防するため、患者さんにできるだけ早くリハビリテーションに取り組んで頂きます。

【専門チーム結成！！】

当院では、2020年３月から新型コロナウイルスに対応するためのリハビリテーション介入を開始しました。2020年12月からは専門チームを編成し、現在も活動しています。どのような状態でも「できるだけ早くから、できることを少しでも」を信念として、リハビリテーション介入に取り組んでいます。そのために、集中治療センターから医師、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、リハビリテーションスタッフ等で話し合い、計画を立てます。

また、一般病棟に移動した後も、その都度必要な職種と連携をとりながら、切れ目のない取り組みを継続しています。

新型コロナウイルスによって入院し、今後の生活に不安を感じる患者さんやご家族もいらっしゃるかもしれません。その不安を取り除けるように、私達新型コロナウイルスリハビリテーションチームは、患者さんとご家族の「生活を取り戻す」ことに役立てるよう頑張って参ります。

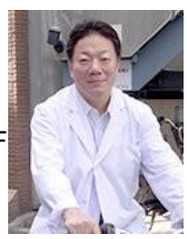
連携登録医のご紹介（五十音順）

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。

日常の診療・健康管理はかかりつけ医で　専門的な検査・治療は当院で　病状が安定したら再びかかりつけ医で

梅川クリニック

院　長　梅川　徹（うめかわ　とおる）
診療科　泌尿器科・内科
住　所　大阪市大阪市都島区都島本通3-24-7-4F
電　話　06-6167-7788


梅川院長

外来	月	火	水	木	金	土
午前（9:30～12:30）	○	○	×	○	○	○
午後（15:30～19:30）	○	○	×	○	☆	×

休診日：水曜、日曜、祝日、土曜午後　※金曜午後☆は…16:30～19:30

院長あいさつ

病気の原因は複雑で、患者さんのお立場やお考えも様々です。同じ病気だからと、同じ治療を押し付けるのは良くないと考えています。しっかりと病状を説明させていただき、患者さんに適切な治療を選択し、きっちり良なっていただく医療を目指します。
何でも気楽に相談でき、格好をつけないクリニックが理想です。 患者さんやご家族の方に、理解いただけるまでご説明いたします。
クリニックでの泌尿器科・内科診療と在宅医療（訪問診療）も行なっていますのでお問合せください。

耳鼻咽喉いわはしクリニック

院　長　岩橋 利彦（いわはし　としひこ）
診療科　耳鼻咽喉科
住　所　大阪市都島区内代町2丁目7−3-1F
電　話　06-6956-3387

岩橋院長

外来	月	火	水	木	金	土
午前（8:30～12:00）	○	○	○	○	○	○
午後（15:30～18:30）	○	○	○	×	○	×

休診日：日曜、祝日、木曜午後、土曜午後　※土曜午前は9:00～12:30

院長あいさつ

「自分や自分の家族だったら」の感覚を持ち続け、各種ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに即した上で一人ひとりに順応した診療を行うように努めます。
また言語聴覚士による音声・嚥下疾患や小児の構音障害等のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが行える大阪府下でも非常に限られたｸﾘﾆｯｸです。補聴器についても言語聴覚士と認定補聴器技能士が連携して専門的に対応します。常に最新の医療知識を患者さまへ還元し、ｸﾘﾆｯｸで対応困難と判断される場合は、速やかに大阪市立総合医療ｾﾝﾀｰなど近隣の病院、他科専門ｸﾘﾆｯｸをご紹介させていただきます。

サクラ糖尿病・腎臓・内科クリニック

院　長　佐倉 剛史（さくら　たけし）
診療科　内科・糖尿病内科・腎臓内科
住　所　大阪市都島区都島本通4丁目24-19-1F
電　話　06-6180 -7563

佐倉院長

外来	月	火	水	木	金	土
午前（9:00～13:00）	○	○	○	○	○	○
午後（15:00～18:00）	○	○	○	×	○	×

休診日：日曜、祝日、木曜午後、土曜午後

院長あいさつ

はじめまして。 大阪市立総合医療センター糖尿病内科 医長を経て、2022年4月に開業いたしました。
当院は糖尿病専門医と腎臓専門医（女性医師）による診療で、皆さまの健康状態に応じた最善の医療を提供することを目指します。
そして、病を持つ人が健康な人と変わらない人生を歩み、前向きに治療に取り組んで頂けることを理想とし、“親しみやすく、わかりやすい診察“を目指します。なんでも気軽に相談いただき、皆さまのかかりつけ医としてお役に立てればと思います。

栄養だより

おいしく減塩「乳和食」！！シリーズ①

「乳和食って何？　まずは季節の野菜で簡単な和え物に挑戦♪」

●●● 栄養部　對馬　和

乳和食とは、味噌や醤油をはじめとする伝統的調味料と牛乳を調理に取り入れた和食のことです。牛乳の**「コク」**や**「旨味」**により、食塩を含む調味料を減らしても、おいしく食べることができます！
今回は旬の春野菜「菜の花」を使った和え物を紹介します♪

＜減塩だけじゃない！牛乳がもたらす効果＞

- **高血圧予防効果（カリウムが豊富）**
- **血糖値の上昇を緩やかにする作用**
- **骨・歯・筋肉の健康を維持する作用（カルシウム・たんぱく質が豊富）**

～菜の花のミルク胡麻和え～

一般的な胡麻和え（食塩：0.7g）と比較し、食塩40%カット!!

材料（1人分）

菜の花……1/4束
醤油……小さじ1/3
牛乳……小さじ1/3
クリームチーズ……小さじ1
砂糖……小さじ1/4
酒……小さじ1/4
（A）
いりごま……少々
（お好みでわさびを加えてもOK）

＜栄養成分＞
エネルギー：57kcal
炭水化物：5.3g　カルシウム：65mg
たんぱく質：3.3g　カリウム：219mg
脂質：3.2g　食物繊維：2.4g
食塩：0.4g

～作り方～

① 菜の花を水でよく洗い、5cm幅に切る。
②（A）を混ぜ合わせ、調味液を作っておく（クリームチーズは完全に溶け切らなくてOK）。
③耐熱容器に①を入れ、600Wの電子レンジで2分加熱する（完全に火が通らない場合は追加加熱する）。
④菜の花が熱いうちに②の調味液を加え、よく混ぜ合わせる。
⑤お皿に盛り付け、いりごまをふって完成。

●外来にて、栄養相談・栄養指導行っています。ご希望される方は主治医へご相談ください。

インフォメーション

令和4年8月
小児医療センターWEB開催決定！

●今回はさくらホールではなく、WEB講演会になります。
詳しくはﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞで確認お願いします。

http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/about/shimin kouza.htm

大阪市立総合医療センター　検索

◆がん相談支援センター

がん患者さんやご家族からのがんに関する相談をお受けしています。一人で悩まず、気軽にご相談ください。
相談は無料です。匿名の相談も可能です。

電　　話　06-6929-3632(直通)
窓　　口　病院 1階 総合医療相談窓口
受付時間　平日 9時～16時（年末年始を除く）

がん相談支援センターホームページ

■発行責任者：大阪市立総合医療センター
〒534-0021
大阪市都島区都島本通2-13-22
地域医療推進委員会委員長　山根　孝久
http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/